

2024(令和6)年度 第15号

地域連携教育だより

岩国市教育委員会 生涯学習課

いわくに地域連携教育アドバイザー

岩国市HP



つながり

大上好久

令和6年11月15日発行

Tel:29-5210

Fax:21-3456

岩国小学校



二次元コードから
閲覧可能です。

誰もが子供だった！ 大人と子供が対等に話し合う場！



文部科学省は、小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別活動編＜第4章第2の(5)家庭や地域の人々との連携＞の中で、次のように述べています。「特別活動は、各種の活動の機会を捉えて、多様な人々へと交流を広げるようにするとともに、誰とでも温かい人間的な触れ合いができるようにすることなどに配慮して指導計画を作成することが大切である。…例えば、コミュニティ・スクール、地域学校協働活動の枠組みを積極的に活用することも望まれる。」

本号では、児童の自発的・自治的な活動である“代表委員会活動”の話し合いに、地域住民の参加を促し、一緒に学校生活の充実と向上を図ろうとしている岩国小学校を紹介します。



テーマ「岩国小学校をより良くするためにできること！」～子供と大人の熟議～

◎ 代表児童約40名、学校運営協議会委員6名、地域住民7名、PTA5名、教職員7名、岩国工業CSサポーター1名

地域学校協働活動推進員1名

児童運営委員です。まず、岩国小の「良いところ」と「困っているところ」を
発表します。良さは伸ばし、課題は良
いところに変えていく方法をグループ
で話し合ってください。 <小学生>

挨拶にポイントを付ければ、やる気
が出ると思います。 <小学生>

子供の意見を聞きなが
ら、思ったことを話せば
いいのだな。～校長
室での事前の説明を聞
いて～ <地域住民>

挨拶は自分の意
思ですものなの
で、競争するも
のではないのでは？
<小学生>

どちらの考えも一理あるな。子供
もよく考えて発言しているな。感心
してしまいます。 <地域住民>

大人のひととの話し合いは初めてで
緊張したけど、岩国小が良くな
る方法を一生懸命考えました。
ワクワクしました。 <小学生>

子供の考えが良くわかります。大人も子供
と一緒に意思表示でき、互いの思いが伝
わり合った感じがします。 <地域住民>

地域の皆さんが、優しく最後まで
話を聞いてくださるので、子供は安
心して発言していました。生き生き
していました。 <6年担任>

地域の皆さんは、学校にと
ても協力的です。今回の熟
議も学運協委員さんだけ
でなく、岩国地区民生委員児
童委員協議会の方も多数参
加していただき、とても感謝
しています。 <林 校長>

子供と大人が行う熟議の価値は、異質なものと
の出会いにより、新しい見方・考え方が生まれること
です。子供の純真で素直な思いや考え、大人の思慮
深く幅広い考え、お互いの良さを認め合っている姿
がありました。これからの「学校づくり」を、子供自身、
教職員、地域住民が共有しているように感じました。

